# 東冬 侯温 (トントン・ホウウェン)

現代芸術家、先住民族文化伝承者。花蓮県秀林郷銅門集落出身のタロコ族。祭司の家系で祖父母に育てられたため、自民族の言葉と文化をより直接学び、タロコ語を自在に操る。太鼓集団「優人神鼓」や原住民族の舞踊集団「原舞者」の学生メンバーとして、多くの国を歴訪。その後、創作媒体を小劇場から徐々に映像・アクション・インスタレーションを融合させたマルチメディアへと発展させる。フランス・アビニヨン芸術祭参加。2014 Pulima 芸術賞グランプリ。

※Pulima 芸術賞:(財)原住民族文化事業基金会による、南島民族現代アートのための賞

#### ヤイレンカ

関東在住の若いアイヌ伝統文化伝承者で結成された歌・ムックリ・踊りのユニット。「ヤイレンカ」は、アイヌ語で「喜ぶ」の意。祖父母の時代の古い歌・踊りを掘り起こして紹介。今回のメンバーは宇佐照代、宇佐恵美、結城志穂、有里明日香の4人。(今年、台湾先住民族との交流を求めて渡台を計画中)

アンチャン・プロジェクト (Anchang Project) 日本~奄美~沖縄~与那国~台湾~太平洋へと、声によるプリミティブな唱和の楽しさを三線、笛、ギター、打楽器と共に追求。安場淳主宰(歌、三線) JoJo 澤渡(歌、ギター) ダリア比嘉(歌、鳴らし物) 菱田まき (歌、笛) サポートにカサハラ・マ (ジェンへ)。

東冬侯温は最高の楽器だ。 強 伝 人を楽器に音楽を奏でる。 八が音楽を演るのでは 然そのものがうたって が こえたの 治音楽は 島が、 た は覚えが 自然と て 地球が る。 の結び付きが 大地 な がう

7

この 花綵列島から調 天と地を結ぶ ーネル 星 ら発せられ 唄を初めて聴 が 球 3 放たれ を見せられた。 0 和 る音霊 浄 化 た時 が はじまる 0 3

おおしまゆたか

(翻訳家

#### ● 花綵列島とは…

(環境音楽家)

アリューシャン列島から日本、沖縄を経て台湾に至る、アジア大陸の東端を花飾りのように結ぶ島々を地理学上、花綵列島と呼びます。この島々は、古来、南北の文化が伝播し、交差して新たな花を咲かせる綵(つな)でした。今回、北は北海道、南は台湾の花蓮から先住民族の土に根ざした歌・踊りを今に伝えるミュージシャンたちが首都圏で一堂に会することとなりました。日替わりの友情出演者もこの列島を彩る芸能者たちです。

"

しゅこうじ

# 修廣寺 川崎市麻生区片平 2-8-1 TEL.044-988-0165 ■小田急線五月台駅 10分

源頼朝が巻蒐を行ったという言い伝えにちなむ当地の古名、夏蒐。修廣寺を拠点とする和太鼓集団「夏蒐太鼓」が「原初の唱和」週間全体への先触れ太鼓を打ち鳴らす。

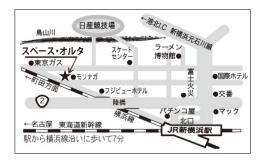




#### スペース・オルタ

横浜市港北区新横浜 2-8-4 オルタナティブ生活館 B1F TEL.045-472-6349 ■新横浜駅 7 分

東冬の故郷、台湾・花蓮の対岸にあって花蓮市と姉妹都市関係を結んでいる与那国島の東京郷 友会青年部が伝統芸能の棒踊りを奉じる。 花綵列島のラインを国境を越えてつなげる。





# ムーブ町屋

東京都荒川区荒川7丁目 50-9 TEL.03-3819-7761 ■千代田線/京成線町屋駅 1 分

東京の下町に近い町屋。江戸時代からつながる下町の習俗を明治時代に発展させたチンドン屋、永田美香の「チンドン芸能社」が"賑やかし"する。聖と俗が出逢う日。チンドン芸能社は今年のチンドン全国大会優勝者!





じっそうじ

#### 池上實相寺 東京都大田区池上 2-10-17 TEL.03 – 3751 – 4056 ■浅草線西馬込駅 10 分・東急線池上駅 15 分

東京在住のチーム、「エイサーバナナ」。旧盆の行事であり、祖霊を迎えるという日沖共通の意義を持つエイサーは、コンサート最終日であり新暦の盆と旧暦の盆を挟むこの時期の實相寺に奉じるに相応しい。







